

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 令和 3年 6月12日
(97号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
発行 学塾・中之島事務局

人間学講座
第102講

「組織作りと人材育成の本質」

堀内明日香先生



■宝塚は全体で一つを作るプロ

私は二十代の頃十年間宝塚歌劇団に在籍しておりました。映像から宝塚の男役とSMAPの男役との違いはどこか。SMAPは五人がそれぞれ個性を輝かせ表現する一流のエンターテインメントです。個々が違っていて素晴らしい。一方、宝塚は全体で一つの作品を作るプロです。

毎年四〇人も個性豊かな人たちが入ってくるのですが、その個性も組織としてベクトルが揃っていないれば成果が出ない。ですから宝塚では先ず最初に組織としての理念を浸透させることを徹底して行います。

宝塚の基準、宝塚の型という、一糸乱れぬほどの一様性を大切にします。技術よりも、理念であり方向性を大変重んじているわけです。宝塚は今年で一〇七年を迎えました。衣食住に関係のない芸能の世界で、百年以上となる企業は宝塚以外にありません。七年前に百周年を迎えたときは、創業者小林一三先生が伝記シリーズに登録され誇らしく感じております。日本は老舗企業大国です。

世界で創業二百年以上の企業の数にはわが国日本が第一位。世界で二百年を越える企業の半分以上が日本にあり、その数三千社以上、続くドイツが八〇〇社ですから、その差は大きい。これは日本の強みが次世代への継承にあることを物語るのではないかと思います。

中国の儒学者の言葉に「徳のある家は十世代以上に渡って繁栄できるが、しかし金持ちは三世代しか続かない」とあります。人としていかに徳を

積んできたか、企業においてはいかに徳作りをしできたかが大切になってくるでしょう。

■ドラッカーのマネジメント

長寿企業の共通点として、長く続くということ、中心のものがしつかり受け継がれているということがあります。国ならば日本の中心は天皇陛下・皇室であり、企業ならば創業理念、この中心がしつかりとしている上での多様性が重要なのです。P・F・ドラッカーは組織のマネジメントを発明し、原理原則を著した人です。原理原則とは陳腐化しない、時が経っても変わらないこと。私はドラッカーの理論を知ったときに、宝塚で学んだことと重なりました。本を読み進むにつれ、ドラッカーが宝塚のことを取り上げていたので納得がきました。

最も重要なことは常に基本に立ち返ること。今このコロナの時代に、変わっていかねければならないこと、そして変えてはいけなこともあると思います。本能とは、生きていくうえでもともと機能として備わっているものですが、人間の本性とは、学ばなければその理念というものは表れてこない。日本人に生まれていても、日本人たるものになるのは学ばなければ難しいものなのです。リーダーになれてもリーダーたるものになるのは難しいのもしかり。タカラジェンヌも同様に、タカラジェンヌになれてもタカラジェンヌたるものには難しく、そのためには技術・スキルを磨くのみならず、理念を最初に学ばせていただいていたと思います。

■人材育成三つのキーワード

小林一三先生は何も無いところからイノベーションをされた人です。女が男役をするという宝塚や高校野球の甲子園球場など、いずれも〇から一を作った方です。宝塚がなぜ百年以上も続いたのか。その理由として絆の強さがあったこと、そして技

術・スキル以外の人間性を高めるということが重んじられていたということが大きい。

ドラッカーは事業のマネジメントと組織のマネジメントの違いを提唱しています。事業は外向き、組織は内向きに見るべきである、と。宝塚の組織もまさにこの通りで、事業はお客様第一主義（成果主義）で外向きに展開、一步舞台を下りると先輩は後輩を導き、後輩は先輩を素直に受け入れ、相調和し統制（年功序列）がとれています。チームとしての和がベースにあつての成果実力主義で構成されているのです。

組織を通して人が心身を輝やかせる人材育成のキーワードとして

- ① ゴールが明確であること。
- ② 身体で覚えること。
- ③ 在り方で示すこと。

どの山に登るのかによって、練習も装備も全く変わるのと同様にゴールを定めることは大切、目標意識が結果を決めるのです。「身体で覚える」とは身体から入ること、宝塚に入って驚いたのは、ダンスや歌のレッスンばかりするのかと思いきや下座行ばかりでした。しかも、利他こそが喜びということから、全てにおいて「…させて頂く」との言葉を全員が徹底して用います。

宝塚は理念を「型」（行動原理）に落とし込み、頭の学びではなく、理念のトレーニングとしているのです。理念は組織の中心。さまざまな個性があっても、理念を「型」により行動規範として浸透させていく、ここが他との大きな違いでしょう。三つ目は人間学の大切さです。我々の学びの大半は人間を通じてなされます。神道での御霊の願いは「魂」です。魂の働きは愛であり徳であるから、これを果たすことが生命活動の使命なのです。

（抄録 中川千都子）

《人間学塾・中之島》

■ 令和3年7月カリキュラム

＊日時 7月10日(第2土曜)

午後1時～4時

＊場所 大阪城ホール(内コンベンションホール)

大阪市中央区大阪城3-1

▼ 午後1時 ～ 午後3時30分頃

＊講師 西亀 真先生

1967年 広島県三原市生まれ。「幸せの入り口屋」初代当主。「志」講演家。高校卒業後、大阪にある大手百貨店に入社。コンピュータ部門に勤務。1995年、目の難病「網膜色素変性症」を発症。病が進行するに連れ、視力視界が徐々に失われていく恐怖に日々苛まれる。失意のどん底に陥るがその恐怖を独自の思考法で克服し、関西カウンセリングセンターで資格を取得、全国で講演活動を行う。

■ 8月14日(土曜午後1時～) 予定

第一部 執行草舟先生「講話ビデオ放映

第二部 卒塾式

お願い(別紙6月案内済み)

★ 第八〇九期卒塾文集『なかのしま』掲載原稿提出の件

★ 3月にお亡くなりになられました寺田一清先生への追悼のことば・想いで・学びなど、原稿募集の件

◆ 原稿締切 6月末日必着

※ コロナ禍等の影響により、制作日程が大変タイトになっていきますので、厳守ご協力願います。

《芳信抄》

東京都 鍵山秀三郎先生

寺田一清先生ご逝去なされ、平成四年二月ご指導をいただいて参りましたことを思い浮かべつつ、ご冥福をお祈り申し上げます。お元気なお姿をお写真で拝見することができて嬉しゅうございます。

白駒先生のご講演で日本の国は、先人の志と皇室に守られてきたことを自覚せねばならないと教えられました。

埼玉県 山下武彦様

小松遊平先生の運が良くなる三つのこと、「人の役に立つ・人を喜ばせる・人を救う」

白駒妃登美先生の、何度かの国の危機を救った民の心と皇室の祈りから、皇室の春があり、天皇は国民を大御宝と呼ばれた居ることが定着していることをありがたく思いました。

寺田一清先生計報連絡、思いでのアルバムを添えたのお知らせ、ありがとうございました。「師の御年を越えて百歳まで」の願いには至りませんでしたが大きなお仕事を果たされました。

埼玉県 大出雅一様

寺田一清先生には、大変世話になりご指導ご鞭撻を頂きました。心よりご冥福をお祈りいたします。森教学の普及拡大に捧げられたご生涯だったと思います。小松遊平先生から「運と徳はイコール」「運が良くなる三つのことから、自分を良くすることではなく、人を良くすること。これが自分に返ってくる。」

白駒先生の、皇室と日本人の関わりは、他国にはない強い絆がある。わが国の貴重な伝統として忘れてはならないことであると思います。

宮城県 加藤秀夫様

寺田一清先生のご訃報に接しご冥福をお祈りいたします。

小松先生、白駒先生のご講話の詳細を拝し、寺田先生の生前の教えを思い起こし、跪拝合掌いたしております。

愛媛県 桂 誠司様

寺田一清先生の訃報誠に残念でなりません。いつかこの日が来るのを恐れておりました。寺田先生は私の心の中に良い遺産を沢山残してくださいました。大感謝です。

宮城県 菊田 信様

小松遊平先生、白駒妃登美先生のご講演を拝見致しました。ありがとうございました。

岡山県 柴田久美子様

寺田先生のことを勝手に恩師と呼ばせて頂いて一五年。今の私があるのは、寺田先生のおかげです。離島時代から笑顔で導いてくださったご恩を忘れず、目の前の逝く方々に尽くします。心からご冥福を祈りながら・・・

愛知県 坂部智一様

運が良くなる三つのことば、「人の役に立つこと、人を喜ばせること、人を救うこと」仕事もそうですが、人生も良くなると思います。まずは自分から実践致します。

寺田先生は天国で見守ってくださいっていると存じます。今朝は、修身教授録の読書の講を拝読致しました。行間に寺田先生がいらっしゃいます。学んだことを実践してまいります。

